

奈良市協働のQ&A

vol.2

協働は何をめざして進めていけばいいのでしょうか？
奈良市で定めている、協働についてのルールをみてみましょう！

Q2

協働の具体的な目標やゴールってあるの？

A2

協働にはさまざまな形態があって、すべてに共通する具体的なゴールというものはないんだよ。

協働を行う際には、どのような課題を、いつまでに、どのように解決するのかについて、あらかじめお互いに協議し、事業の内容によって、役割分担や具体的な目標を決める必要があるんだ。

共通の目的である公共的な課題を解決することができた時が、協働のゴールと言えるね。だから短時間でゴールに到達するものや、ゴールするまでに何年もかかるものもあるよ。

ただし、協働を行うなかで社会状況などが変化した場合は、当初の計画に縛られることなく、お互いに協議し、目標を修正することも大切だよ。

何をもちて目標が達せられたと言える状態なのかを常に意識しながら協働を進める必要があるんだ。

また、協働は目的ではなく手段だから、事業ごとに目標が定められることはあっても、協働による地域づくりには終わりはないんだ。



協働



課題の解決がゴールになるんだね。まずは市と協働相手とで課題に対する目標を決めて、目標を常に意識しながら進めなくっちゃ！

協働の原則

奈良市では『奈良市ボランティア・NPOとの協働のあり方に関する指針』

【http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1147754260384/files/shishin_a.pdf】のなかで、協働の原則というもの定めているよ！この原則をもとに協働を進めていこう。

奈良市協働の原則～協働のための九箇条～

ちゃんとできてるか日々意識しよう！

其の一、対等であること

お互いに上下の関係ではなくパートナーとして対等の関係を保とう！

其の二、相互に理解すること

お互いの立場や特性を理解し尊重したうえで、それぞれの役割を明確にして協働の取り組みを行っていこう。

其の三、自主性を尊重すること

行政は、協働の相手のもつ柔軟性、先駆性、専門性などの長所を活かした取り組みができるよう、自主性を尊重しよう。

其の四、自主化を進めること

依存や癒着の関係に陥ることのないよう、協働の相手が自立にむかうように協働を進めよう。

其の五、目的を共有すること

協働の目的をお互いに共通理解し、確認しておくことにより、円滑な取り組みを行っていこう。

其の六、補完しあうこと

両者の特性を踏まえつつ、お互いに補い合いながら役割を分担しよう。

其の七、公開すること

協働事業についてプロセスや結果等の情報を公開し、市民に対する説明責任を果たすことで、協働に対する市民の理解を得よう。

其の八、共に変わること

協働をとおしてお互いに「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という姿勢や意識を持とう。

其の九、期限を決めること

協働事業の達成目標や事業期間など協働関係を解消する条件を決めておくことで、馴れ合いを防ぎ、適度の緊張感を保ちつつ進めよう！

NEXT! Q3 協働って必ず市と市民公益活動団体が行っているものなの？

…協働の相手って、決まっているものなのかな？